

インテリックスグループ 新コーポレートアイデンティティ発表のお知らせ

株式会社インテリックス（東京都渋谷区、代表取締役社長 山本卓也）は、創立20周年を機に当グループの取り組みをより一層明確にしたブランディング展開をすべく、コーポレートロゴ及びシンボルマークを改定し、新しくスローガンを制定しました。

当社グループは、これまで中古マンション再生流通事業を主軸に「リノベーションによる付加価値」を提供してきた企業です。リノベーションマンション事業で培った20年にわたる実績とノウハウを活かし、個人や法人からのリノベーション内装工事にも積極的に応える体制の構築や、少額で不動産投資ができるアセットシェアリング事業の推進など、新たな事業展開を進めてまいります。

なお、8/17より新ホームページに改定するほか、8月より順次新コーポレートアイデンティティの使用を開始します。

●新コーポレートロゴ

In+elleX

●シンボルマーク



取り除く



加える



イコール



倍の価値

“Intellex”という社名の中には4つの数字記号がかくれていたのです。
しかもそれらは、取り除く(−)・加える(+)・イコール(=)・倍の価値(X)になる、というリノベーションそのものを表しているようにも解釈できます。
新しいロゴではその記号をモチーフとしてデザイン。また、この4つの記号をシンボルマークといたしました。

●スローガン

インテリックスのリノベーションは、ミリ単位で物件を徹底的に“測る”ことから始まります。そのこだわりが、豊かで機能的なスペースを生み出しています。また、“測る”という言葉には、「ものとはかる」という意味だけでなく「予想する」「気持ちをおしはかる」という意味もあります。そして、この“測る”をキーワードにスローガンを制定しました。

コーポレートスローガン

つぎの価値を測る。

ブランドスローガン

きもちまで測るリノベーション。

古い・汚いといった不安要素により流通が滞っていた中古マンションに「リノベーション」と「保証」という概念を導入し、安心の住まいを提供してきたこと。また、「アセットシェアリング」という不動産をシェアして所有する新しい仕組みをつくったこと。リノベーションを軸として、世の中に必要な新たな価値を予想し生み出す当社の姿勢を『つぎの価値を測る。』というコーポレートスローガンで表現しました。

インテリックスのリノベーションは、空間を“測る”だけでなく、同時に人の気持ちを“測る”ことも大切にしてきました。

住む人の「きもち」を考えた精密な計測、価格にあつた適切なプランを提示する気配り、さらには近隣住人の「きもち」を配慮した工事や、住んでからの「きもち」を考えたアフターサービス保証等、インテリックスのリノベーションをあらわすブランドスローガンを『きもちまで測るリノベーション』としました。

株式会社インテリックス <http://www.intellex.co.jp>

インテリックスは、首都圏を中心に築年数の経過した中古マンションを、個人から一戸単位で仕入れ、グループ会社である株式会社インテリックス空間設計にて高品質な内装を施し、アフターサービス保証を付帯した《リノヴェックスマンション》として一般市場で販売しています。毎年マンションストックが増加する中、中古マンションに「リノベーション(再生)」という新たな価値を付加することにより、中古マンションの円滑な流通を促進することを目指しています。(2015年5月末までのリノヴェックスマンション販売累計戸数は15,680戸)

【代表取締役】 代表取締役社長 山本卓也

【資 本 金】 22億9百円

【本社所在地】 東京都渋谷区渋谷2-12-19

【設 立】 1995年7月

【事 業 所】 札幌店、仙台店、横浜店、名古屋店、大阪店、福岡店

【上場取引所】 東京証券取引所第二部（コード8940）

【主な事業内容】 中古マンション再生流通事業(リノヴェックスマンション事業)、その他不動産事業

【報道関係の方からのお問い合わせ先】 インテリックス広報事務局（フロンティアインターナショナル内） 担当：田中・森・千葉
TEL：03-5778-4844 / FAX：03-3406-5599 / mail：pr@frontier-i.co.jp